

会 議 録

様式 3

会 議 録 (審 議 会 等 名)		第 2 8 回 相 模 原 市 地 域 保 健 医 療 審 議 会				
事 務 局 (担 当 課)		健康福祉局福祉部地域医療課 電話 042 - 769 - 9230 (直 通)				
開 催 日 時		平成 2 7 年 7 月 2 4 日 (金) 午 後 1 時 3 0 分 ~ 午 後 2 時 5 0 分				
開 催 場 所		市民会館 2 階 第 2 大 会 議 室				
出 席 者	委 員	1 4 人 (別 紙 の と お り)				
	そ の 他					
	事 務 局 等	8 人 (健 康 福 祉 局 長 、 福 祉 部 長 、 保 健 所 長 、 地 域 医 療 課 長 、 他 4 人)				
公 開 の 可 否		可	不可	一部不可	傍 聴 者 数	0 人
公 開 不 可 ・ 一 部 不 可 の 場 合 は 、 そ の 理 由						
会 議 次 第		1 あいさつ 2 会長の選出について 3 議題 (1) 地域医療構想の策定に向けた取組について (2) その他				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(〃 は委員の発言、 〃 は事務局の発言)

1 あいさつ (副会長)

2 会長の選出について

委員互選により、細田委員が本審議会会長に選出された。

その後、会長の進行により、会議の公開について委員の承認を得た後、出席者が19人中14人で定足数に達していることを確認し、議題に入った。

3 議題

(1) 地域医療構想の策定に向けた取組について

資料に基づき、事務局より説明を行った。

【主な意見】

地域医療構想において重要な点はどのようなところにあるのか。

必要な医療機能が平成37年に向けてどう変化するかを見極め、それにどのように対応していくのかという点が地域医療構想における大きな課題と認識している。

地域医療構想における施策を検討するにあたっては、医療を受ける側が取り残されることのないようにすべきである。

在宅医療を推進するにあたっては、受け皿の整備が必要である。

慢性期機能や在宅医療においては、介護との連携が非常に重要になる。

医療を受ける側だけでなく、提供する側も高齢化が進んでいることを認識する必要があり、若い人材の育成や定着促進、復職支援等を行うことが大切と考える。

医療従事者を確保・養成するにあたり、地域医療介護総合確保基金を有効に活用すべきである。

神奈川県は全国の中でも特に看護師が不足している。医療機関や施設の看護師のほか、訪問看護師の確保も重要であり、総合的な施策の検討が求められる。

地域医療構想が相模原市の保健医療計画などにどう影響するのか、注視してほしい。

(2) その他

特になし

以 上

第28回相模原市地域保健医療審議会 委員名簿

平成27年7月24日(金)開催

番号	選任区分	役職名	氏名	出欠席
1	医療関係者	(一社)相模原市医師会 副会長	細田 稔	
2		(一社)相模原市医師会 副会長	大山 宜秀	
3		(一社)相模原市医師会 副会長	木内 哲也	
4		(公社)相模原市病院協会 副会長	中野 重徳	
5		(公社)相模原市歯科医師会 専務理事	井上 俊彦	
6		(公社)相模原市薬剤師会 副会長	大岡 元	欠席
7		(公社)神奈川県看護協会相模原支部 支部長	佐藤 美樹	
8	公共的団体 等の代表	相模原市自治会連合会 理事	森 逸雄	
9		(福)相模原市社会福祉協議会 常務理事	高部 博	○
10		相模原地域連合 副議長	渋谷 雄二	欠席
11		(特非)男女共同参画さがみはら 理事	小山 日出野	
12		相模原市獣医師会 学校飼育動物委員	崎山 玲子	
13		相模原環境衛生協会 会長	鈴木 貴市	○
14		相模原食品衛生協会 副会長	高山 みや子	欠席
15		相模原市食生活改善推進団体わかな会 会長	湯田 里子	欠席
16		相模原市健康づくり普及員連絡会 会長	永富 多美子	
17		(特非)県歯科衛生士会相模原支部 副支部長	勝村 尚子	
18	公募		小川 節子	欠席
19			荒川 伸子	

任期：平成26年7月1日～平成28年6月30日